

# 個人投資家向け会社説明会

## ダイトロン株式会社

証券コード: 7609 東証1部

## 目次

- 会社概要
- 事業内容
- 業績ハイライト
- 第9次中期経営計画について
- 株式情報

# 会社概要

商号	ダイترون株式会社
設立	1952(昭和27)年6月24日
本社	大阪府大阪市淀川区宮原4-6-11
代表者	代表取締役社長 前 績行
資本金	22億70万8,560円
従業員数	連結:763名
売上高	連結:516億84百万円(2017年12月期)
事業内容	電子機器及び部品、各種製造装置等の製造・販売 上記の輸出入業務
連結子会社	9社
株式	東証1部上場
証券コード	7609
認証	ISO14001    ISO9001



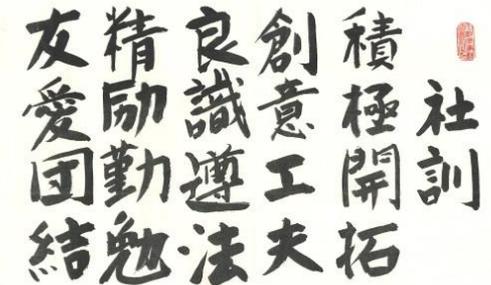
本社(大阪府大阪市)

## 【創業の精神】

「きびしい仕事 ゆたかな生活」

## 【行動規範】

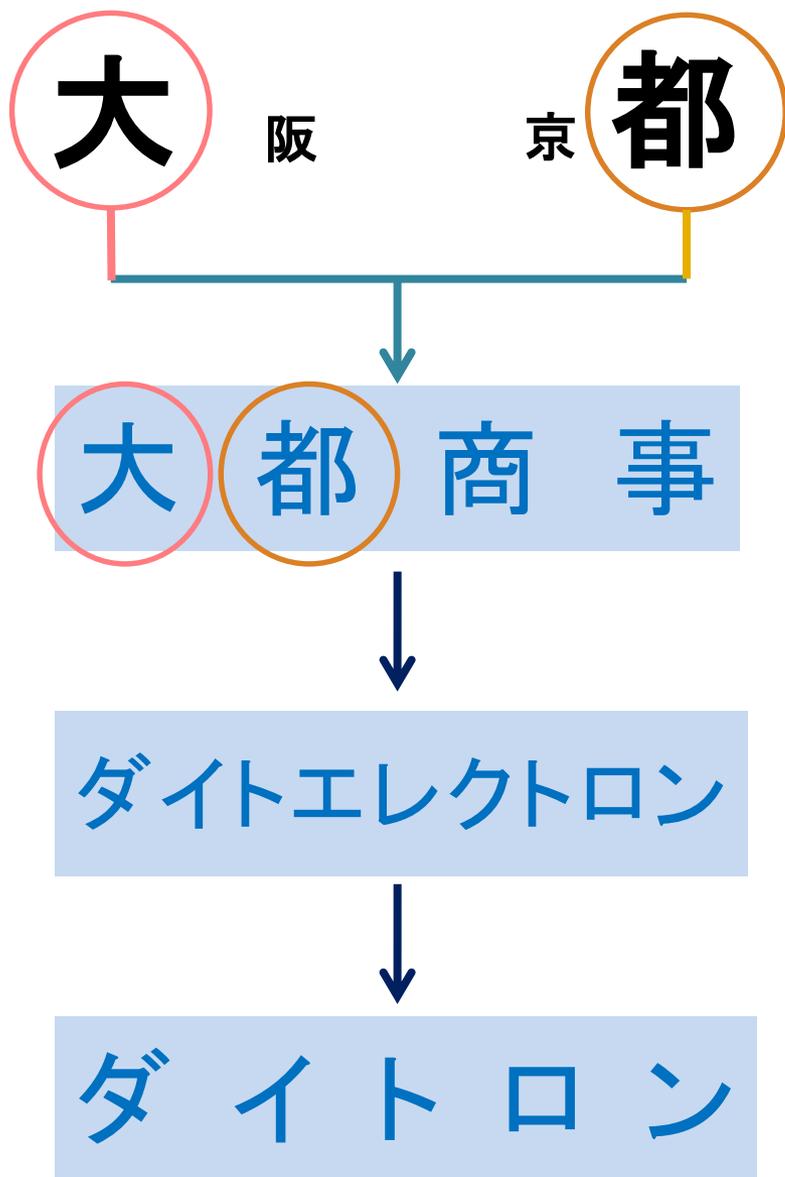
積極開拓 創意工夫 良識遵法  
精励勤勉 友愛団結



社訓  
積極開拓  
創意工夫  
良識遵法  
精励勤勉  
友愛団結

## 【経営理念】

- 我が社は、社員の自己実現を尊重し完全燃焼を期するがため、真に働き甲斐のある快適な職場創りを目指します。
- 我が社は、株主・顧客・仕入先に対して満足の提供に努力致します。
- 我が社は、絶えずグローバルな視野に立って、技術革新と高付加価値の創造に挑戦していきます。
- 我が社は、絶えず感謝の念をもって社会に貢献していきます。

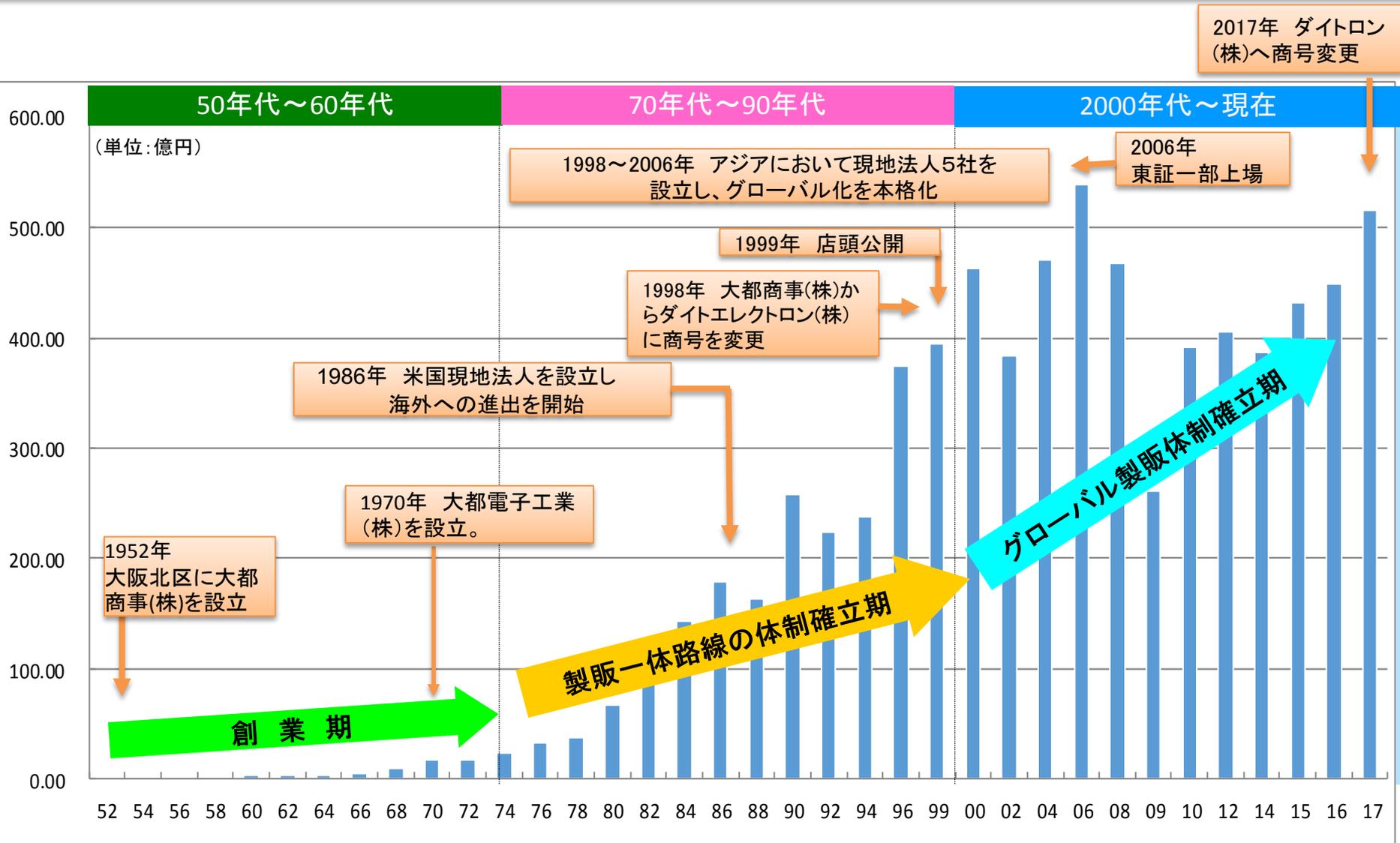


1952年 高本善四郎氏が、大阪市北区に資本金30万円にて大都會株式会社を設立。  
東京通信工業(株)(現ソニー(株))の特約店となり、当時珍しかったテープレコーダの販売に注力。

1998年 大都會(株)からダイトエレクトロン(株)に商号を変更

2017年 国内子会社のダイトデンソー(株)、ダイトロンテクノロジー(株)と合併し、ダイترون(株)に商号を変更

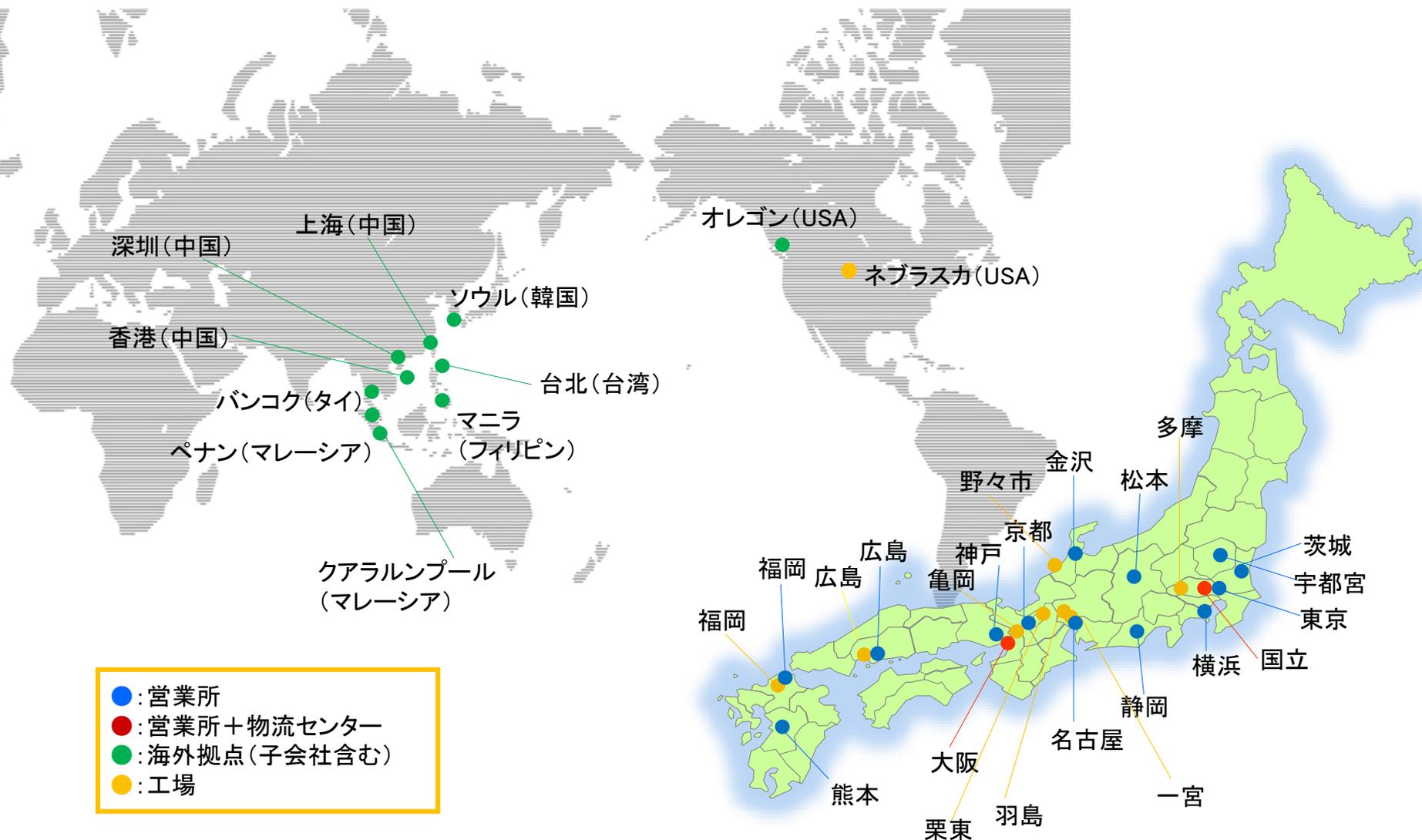




注) 1998年より連結決算を開始。グラフの売上高は1998年以降は連結ベース。それ以前は単体ベース。

(売上高実績)

## 国内23拠点(内8工場)・海外11拠点(内1工場)



会社名	所在地	主要な事業内容	
ダイトロン INC.	オレゴン(アメリカ) ネブラスカ(アメリカ)	北米市場における電子機器及び部品の製造、販売及び輸出入、製造装置の販売及び輸出入	
ダイトロン (マレーシア) SDN.BHD.	ペナン(マレーシア) クアラルンプール (マレーシア)	マレーシア、東南アジア市場における電子機器及び部品や製造装置の販売及び輸出入	
大都電子(香港) 有限公司	香港(中国)	香港、中国華南市場における電子機器及び部品等の販売、調達及び輸出入	
大途電子(上海) 有限公司	上海(中国)	中国市場における電子機器及び部品や製造装置の販売及び輸出入	
大途電子(深圳) 有限公司	深圳(中国)	電子機器及び部品等の販売及びコンサルティング業務	
ダイトロン(韓国) CO.,LTD.	ソウル(韓国)	韓国、東アジア市場における電子機器及び部品の販売、調達及び輸出入	
ダイトロン (タイ)CO.,LTD.	バンコク(タイ)	タイ及び東南アジア市場を対象とした電子機器及び部品、半導体製造装置の販売・輸出入	
鷹和産業(株)	福岡県(田川郡)	電子機器及び部品の製造及び販売	
ダイトテック(株)	広島県(広島市)	電子機器及び部品の製造及び販売	

## ① 製販融合路線のグループ編成

## ② 先見力とマーケティング力

先端商品・有望市場を発掘する先見力

お客様ニーズに基づくマーケティング力

### 【調達先】

日本メーカー

欧米メーカー

アジアメーカー

### 【製造・販売】

ダイترونグループ  
(国内子会社2社・海外子会社7社)

#### ダイترون株式会社

D&Pカンパニー  
(メーカー機能)

M&Sカンパニー  
(商社機能)

(部品事業)  
電子機器・部品  
等の製造

(装置事業)  
製造装置  
等の製造

電子機器・部品  
製造装置  
等の販売

### 【物流】

最先端の  
ロジスティクス  
システム

### 【得意先】

日本市場

欧米市場

アジア市場

総取引先数：約5,000社  
(主要取引先数：約600社)

## ③ 業界トップクラスの物流サービス機能

## ④ 優良な顧客資産と口座数の多さ

# 組織体制 「2本部2カンパニー制」

代表取締役社長

※カンパニー名の意味は、下記を表しております。  
「M&S」…マーケティング&セールス  
「D&P」…ディベロップメント&プロダクション  
※従業員数は2018年9月末時点の人数です。

海外事業本部

管理本部

M&Sカンパニー

D&Pカンパニー

## 【事業内容】

海外市場における電子機器・部品、各種製造装置等の販売及び輸出入

海外グループ会社の管理

## 【従業員数】

46名 (パートアルバイト含む)

## 参考【海外拠点人数】

177名 (パートアルバイト含む)

ダイトロン INC.

ダイトロン(マレーシア)SDN.BHD.

大都電子(香港)有限公司

大途電子(上海)有限公司

大途電子(深圳)有限公司

ダイトロン(韓国)CO.,LTD.

ダイトロン(タイ)CO.,LTD.

## 【事業内容】

電子機器及び部品、各種製造装置等の仕入・販売

## 【従業員数】

425名

(パートアルバイト含む)

## <部品事業>

## 【事業内容】

電子機器・部品等の製造

## 【事業領域】

ワイヤーハーネス、耐水圧コネクタ、スイッチング電源、UPS(無停電電源装置)

## 【従業員数】

267名 (パートアルバイト含む)

## <装置事業>

## 【事業内容】

各種製造装置等の製造

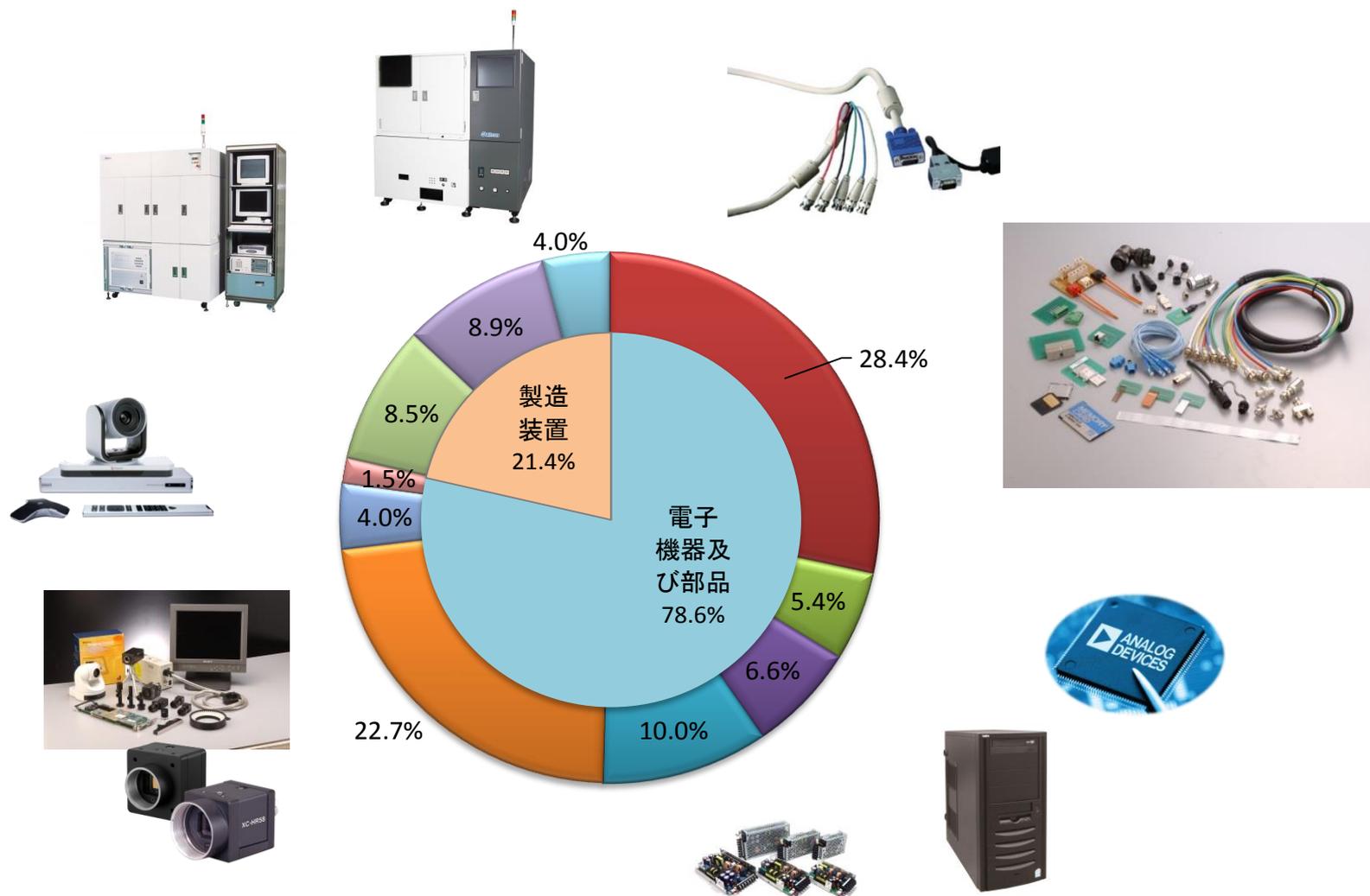
## 【事業領域】

半導体製造装置、光電子関連

## 【従業員数】

107名 (パートアルバイト含む)

# セグメント別売上高構成比 (18年9月末時点)



- 電子部品 & アンテナ部品
- 画像関連機器・部品
- 電子製造装置

- 半導体
- 情報システム
- 製造装置その他

- エンベデッドシステム
- 電子機器・部品のその他

- 電源機器
- 半導体・FPD製造装置

事業	商品セグメント別	売上高構成比	総利益率	オリジナル 製品比率	海外売上比率
電子機器・部品	電子部品 & アセンブリ	28.4%	25.5%	27.1% (前年同期: 24.3%)	北米 3.3% (前年同期: 3.5%)
	半導体	5.4%	19.9%		
	エンベデッドシステム	6.6%	14.9%		
	電源機器(グリーン・ファシリティー含む)	10.0%	16.2%		
	画像関連機器・部品	22.7%	16.6%		
	情報システム	4.0%	27.1%		
	電子機器・部品のその他	1.5%	12.4%		
製造装置	半導体・FPD製造装置	8.5%	19.4%	27.1% (前年同期: 24.3%)	欧州 1.0% (前年同期: 0.3%)
	電子部品製造装置	8.9%	36.0%		
	製造装置その他	4.0%	20.3%		
全 体		100.0%	21.6% (前年同期:22.3%)	27.1% (前年同期:24.3%)	19.7% (前年同期:18.9%)

 は、当社オリジナル製品を含んだ商品セグメントとなっております。

## 電子機器・部品

1975年、電装事業部として事業を開始。  
ケーブルハーネスから電子機器の設計・製作まで高度なアセンブリ  
技術を誇ります。



耐水圧コネクタ



超低ノイズスイッチング電源

## 製造装置

1970年、光導体製造装置・検査装置の製造・販売を開始。  
光デバイス製造装置等の分野で最先端の技術と開発力を誇り  
ます。



スクライブ・ブレイク装置



LD/LEDエージング装置



ウェー八面取機

# 事業内容



耐水圧コネクタ

Daitronオリジナル製品



各種コネクタ・ハーネス

## ■ 主要商品

- ・コネクタ
- ・ハーネス
- ・組配線
- ・ワイヤーハーネス
- ・スイッチ
- ・ケーブル

等

## 製品及び用途



車輦ハーネス

Daitron inc.(アメリカ)製

## ■ 用途

- ・一般産業機器
- ・半導体製造装置
- ・FA機器
- ・真空機器
- ・水中機器

等



タッチパネル表示器



産業用カスタムPC



産業装置用組込PC

## ■ 主要商品

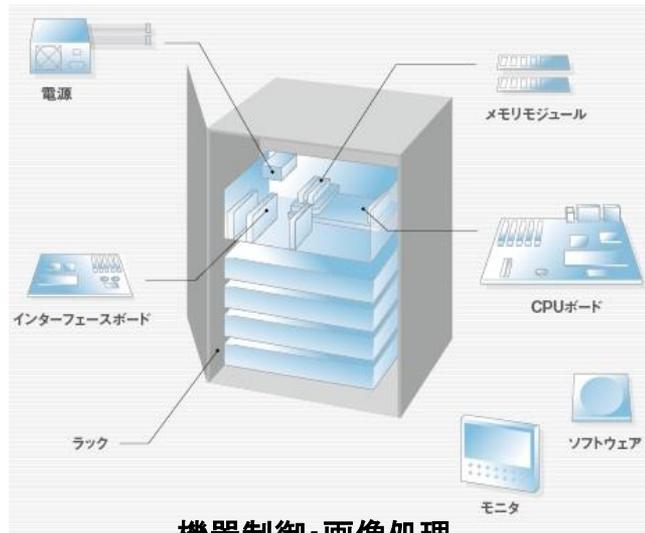
- ・カスタムPC
- ・モニタ、表示器
- ・ソフトウェア
- ・産業装置用組込PC
- ・CPUボード

等

## 製品及び用途



半導体製造装置

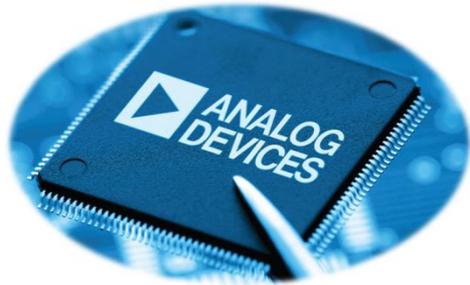


機器制御・画像処理  
産業用PC

## ■ 用途

- ・計測機器
- ・半導体関連装置
- ・機械制御用機器

等



アナログ・高周波IC



画像変換IC



LED・光学素子



窒化ガリウムパワートランジスタ

## ■ 主要商品

- ・画像IC
- ・電源用IC
- ・カスタムIC

等

## 製品及び用途



プリンター



プロジェクター

## ■ 用途

- ・情報通信機器
- ・アミューズメント
- ・映像関連機器

等



無停電電源装置 (UPS)



超低ノイズスイッチング電源  
Daitronオリジナル製品



瞬停保護装置

## ■ 主要商品

- ・スイッチング電源
- ・トランス
- ・無停電電源装置 (UPS)
- ・瞬停保護装置

等

## 製品及び用途



データセンター



医療用周辺機器

## ■ 用途

- ・医療用関連機器
- ・分析関連機器
- ・サーバー関連

等

## 製品及び用途



照明



カメラ



レンズ



画像処理装置



アプリケーション例

ライン検査等

### ■ 主要商品

- ・カメラ
- ・レンズ
- ・照明
- ・モニタ
- ・画像処理装置
- ・CMOSカメラ

等

### ■ 用途

- ・FA機器
- ・計測・検査関連機器
- ・医療用関連機器
- ・一般産業機器

等



ビデオ会議システム



非接触ICカードシステム

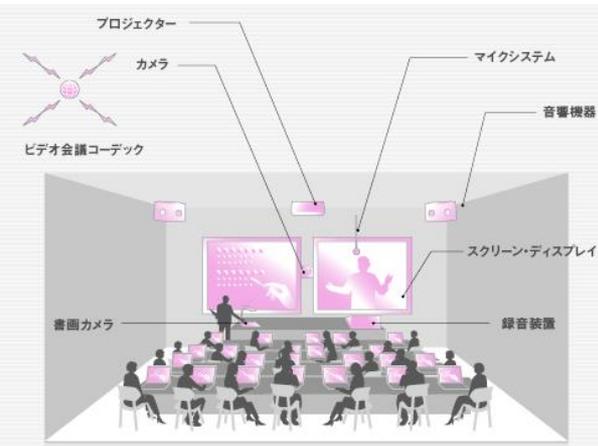


■ 主要商品

- ・ビデオ会議システム
- ・非接触ICカード
- ・リーダーライタ

等

## 製品及び用途



ビデオ会議



各種交通機関



入退室管理

■ 用途

- ・決済端末関連
- ・セキュリティ関連
- ・認証システム関連

等



リフトオフ装置  
Daitronオリジナル製品



有機EL発光検査装置



ウェーハ面取機  
Daitronオリジナル製品

## ■ 主要商品

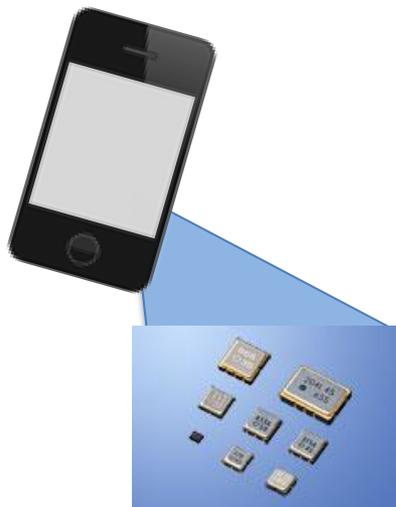
- ・リフトオフ装置
- ・有機EL発光検査装置
- ・ウェーハ面取機
- ・ウェーハ研磨機
- ・FPD自動外観検査装置

等

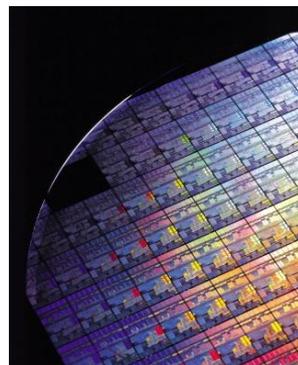
## 製品及び用途



液晶ディスプレイ



通信用デバイス



シリコンウェーハ

## ■ 用途

- ・液晶パネル
- ・ELバックライト照明
- ・有機ELパネル
- ・通信用デバイス
- ・パワーデバイス
- ・シリコンウェーハ

等



スクライブ・ブレイク装置  
Daitronオリジナル製品



LDチップテスター  
Daitronオリジナル製品



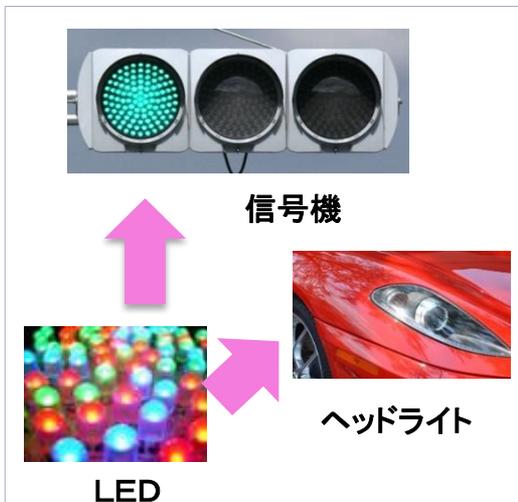
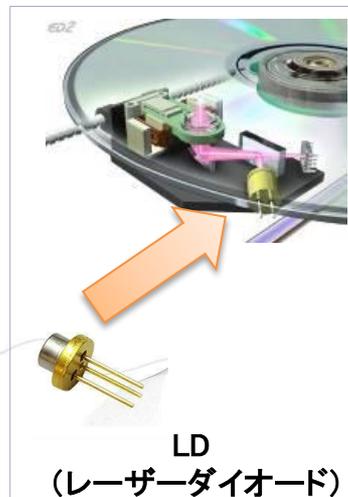
エッジデリーション

## ■ 主要商品

- ・スクライブ・ブレイク装置
- ・LDチップテスター
- ・テスター (LD・LED)
- ・エッジデリーション

等

## 製品及び用途



ソーラーパネル

## ■ 用途

- ・レーザーダイオード (LD)
  - ・発光ダイオード (LED)
  - ・太陽電池
  - ・燃料電池
  - ・二次電池 (リチウム電池)
- 等

# 業績ハイライト

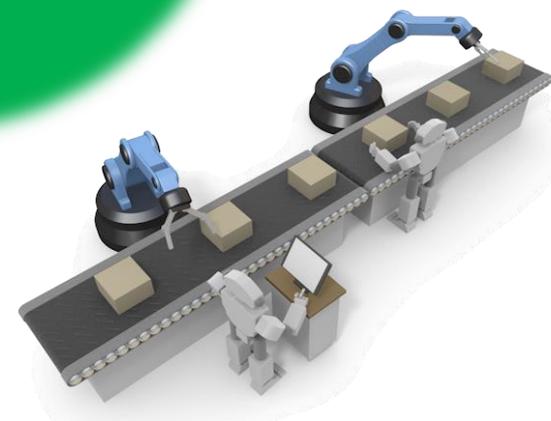


IOT・・・「Internet of Things」の略で建物、電化製品、自動車、医療機器など、パソコンやサーバーといったコンピューター以外の多種多様な「モノ」がインターネットに接続され、相互に情報をやり取りすること。

半導体

IoT

自動化



## ■ 第3四半期累計実績

■ 売上高 **42,632百万円**

(前年同期比 111.4%)

■ 営業利益 **2,465百万円**  
(前年同期比 122.0%)

■ 経常利益 **2,520百万円**  
(前年同期比 122.9%)

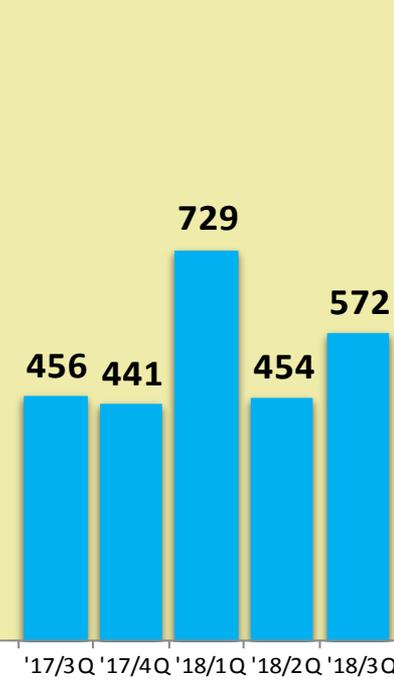
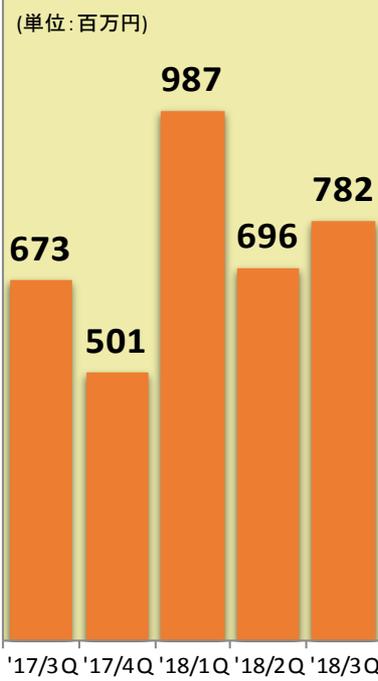
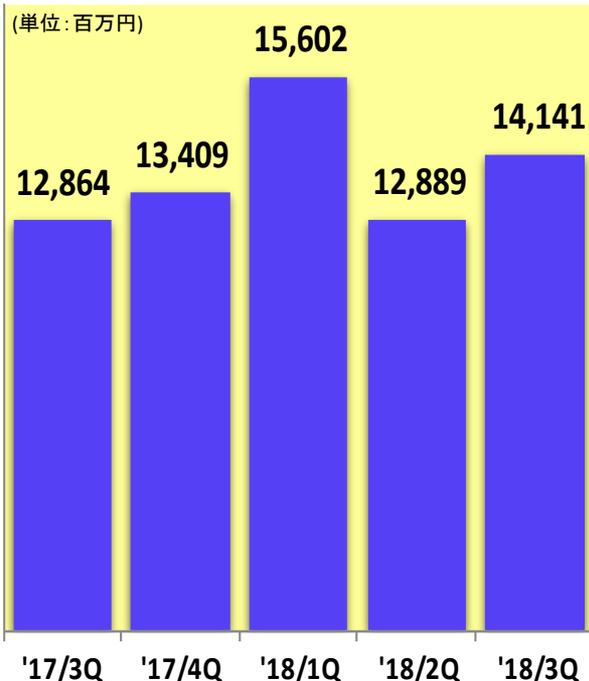
■ 四半期純利益 **1,755百万円**  
(前年同期比 123.0%)

売上高

営業利益

経常利益

四半期純利益



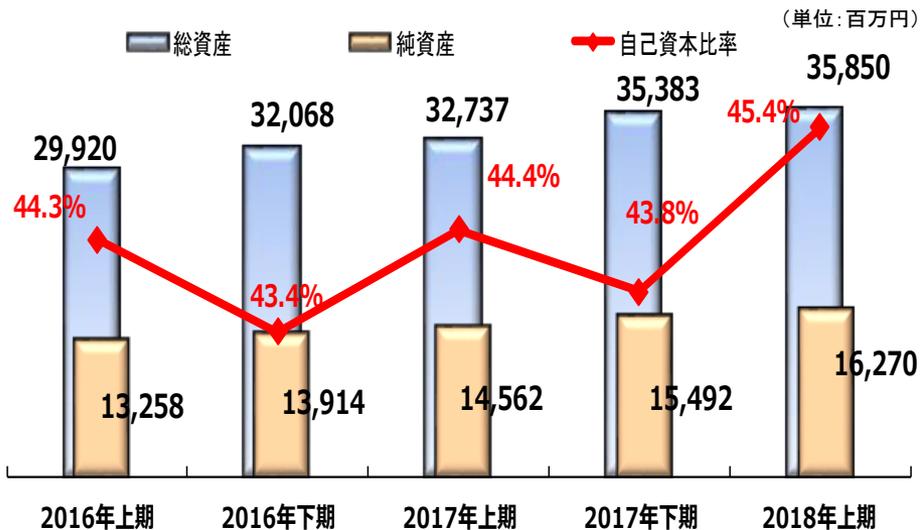
## 連結財政状態(2018年3Q時点)

総資産  
37,086百万円

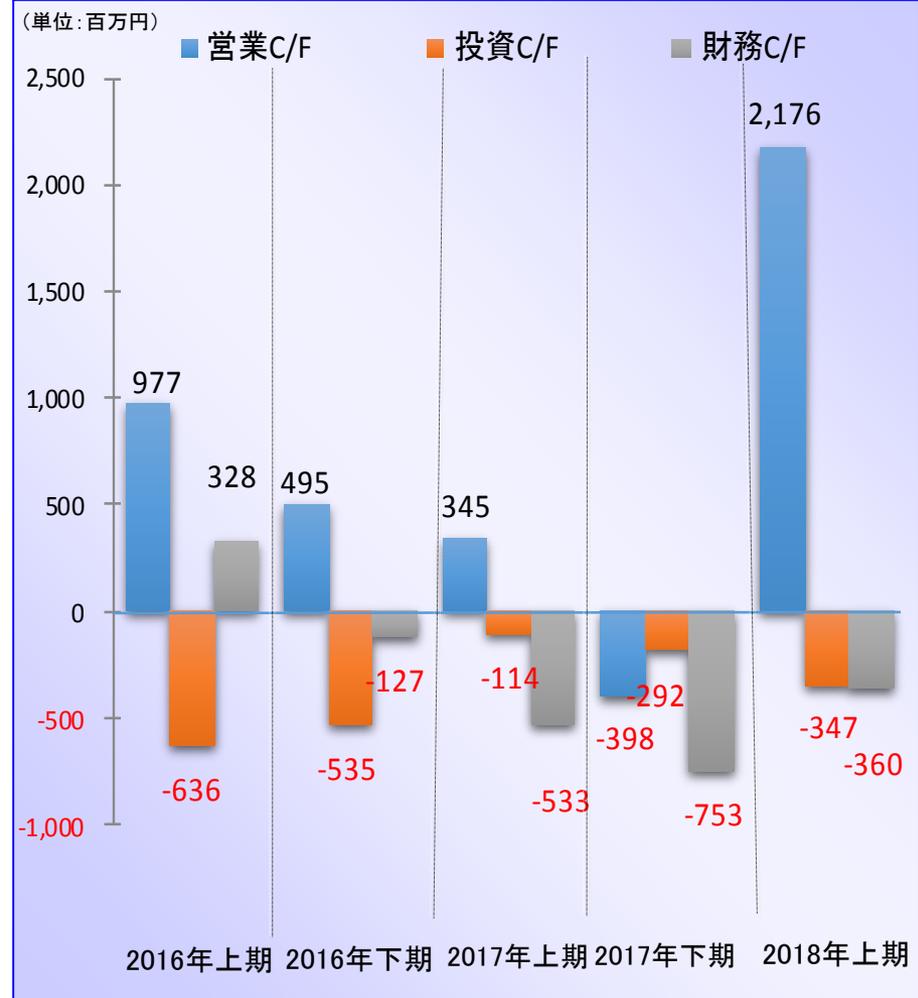
負債  
20,420百万円

純資産  
16,665百万円

## 総資産・純資産・自己資本比率

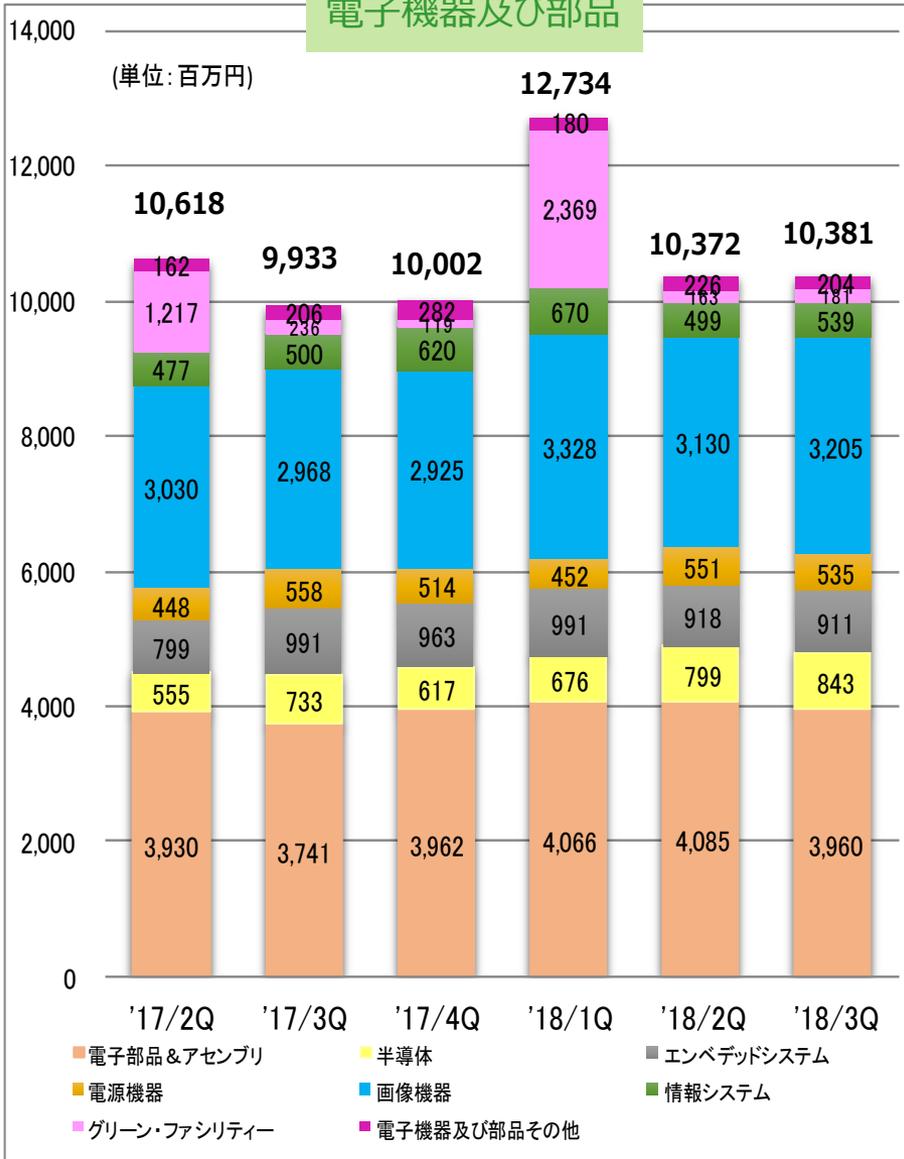


## 連結キャッシュ・フローの状況

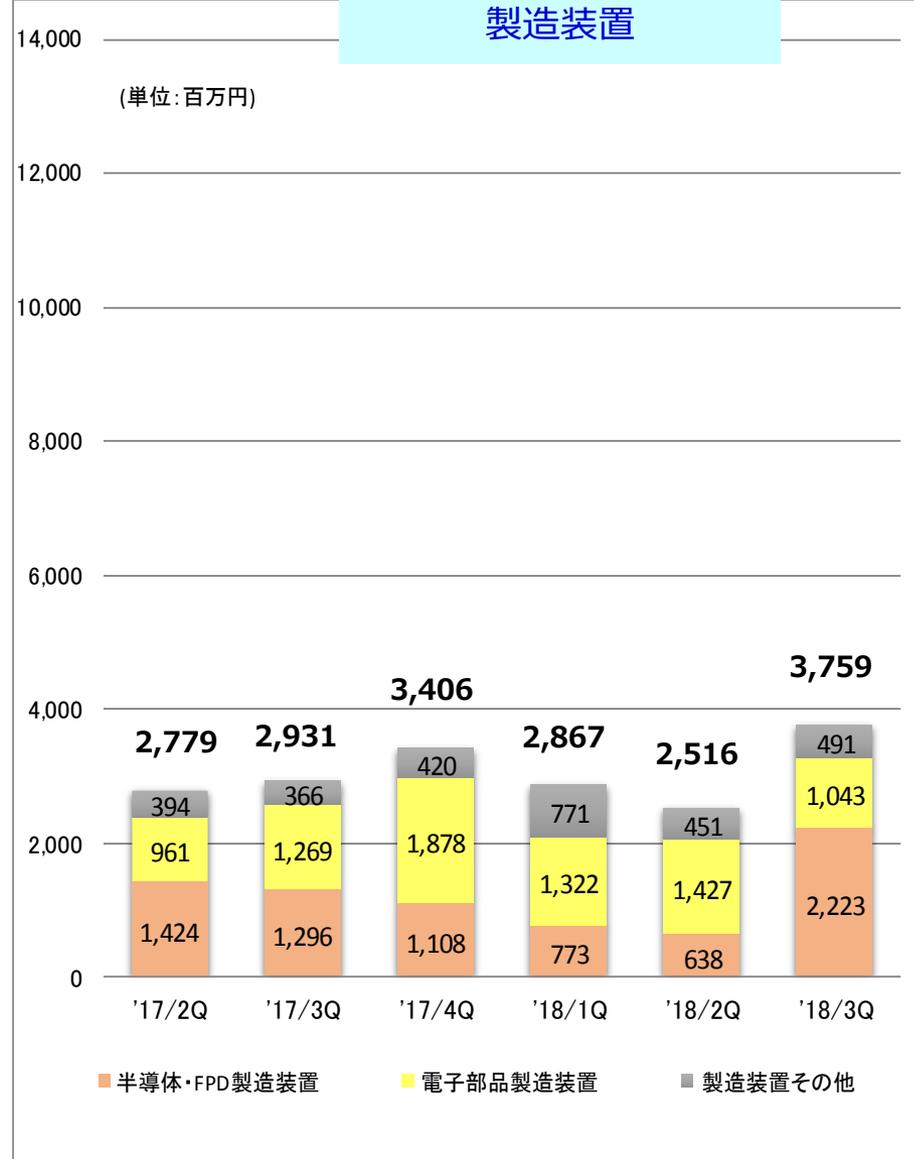


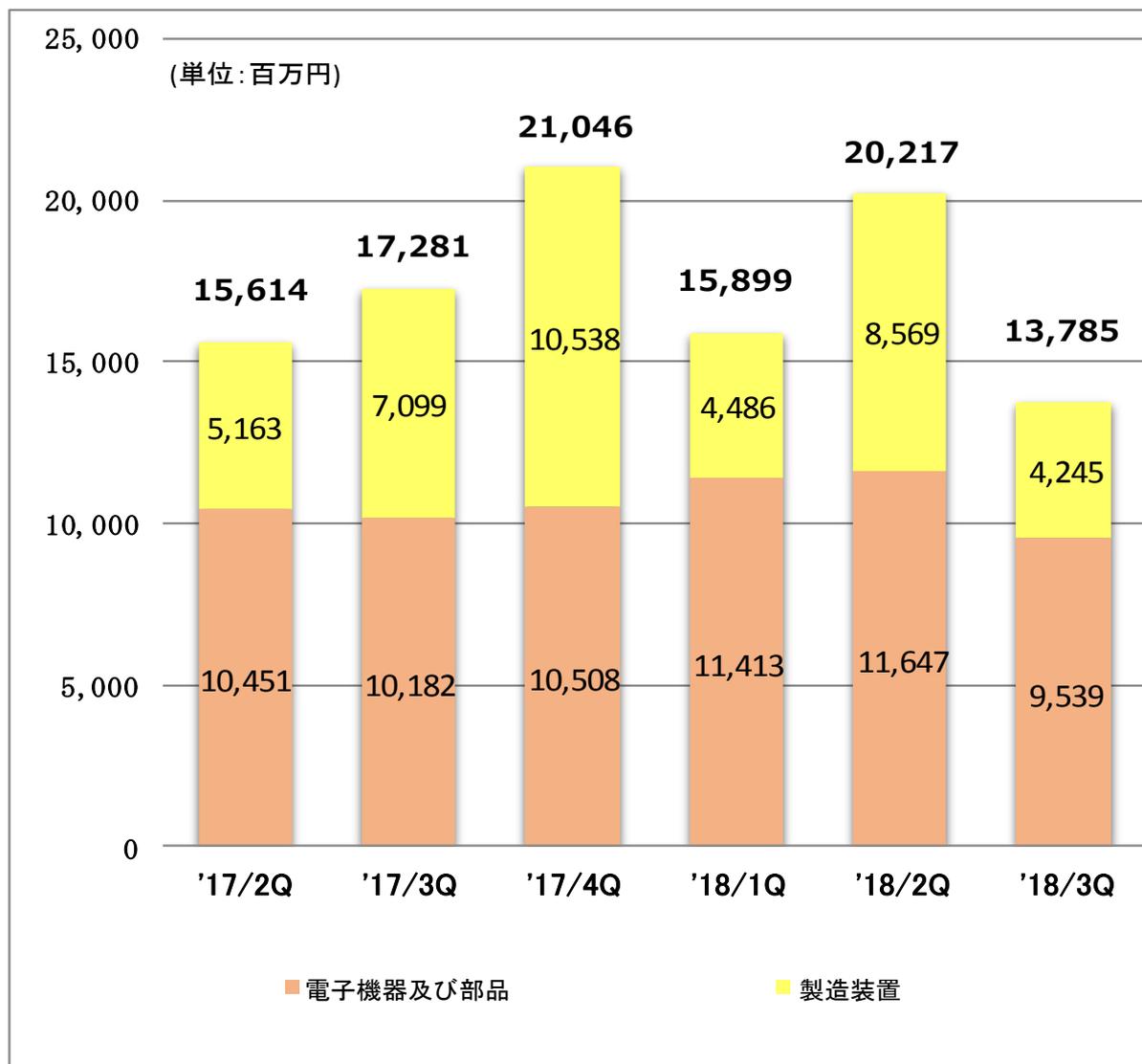
# 商品セグメント 四半期別業績推移

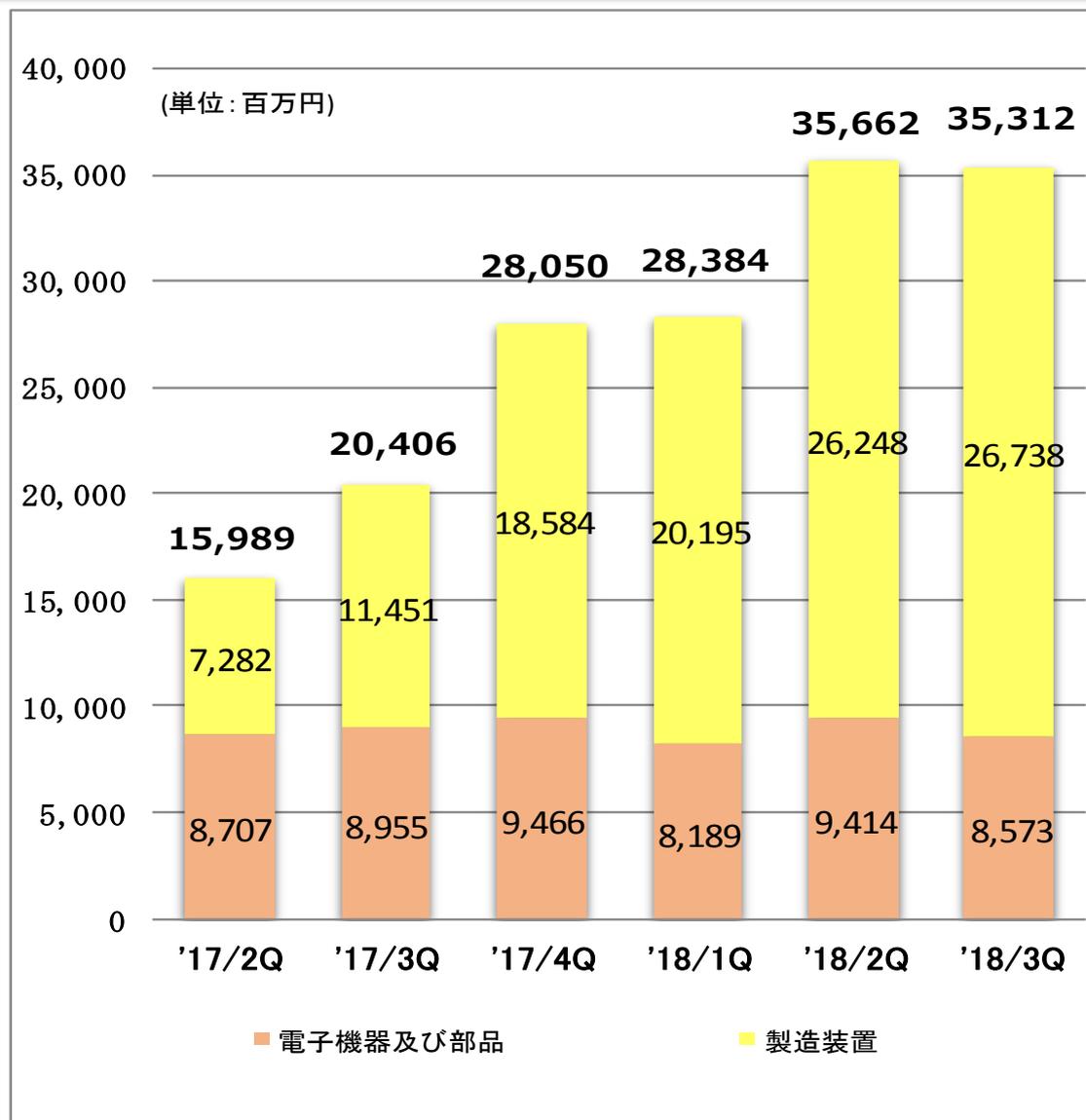
## 電子機器及び部品



## 製造装置





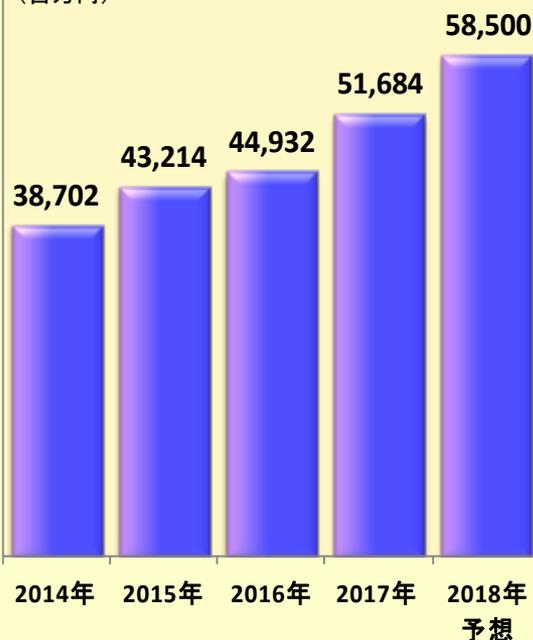


※2019年度以降納期の受注残が、電子機器及び部品には約1,303百万円  
製造装置には約20,112百万円含まれております。

(百万円)	2017年12月期実績	対前年比増減率	2018年12月期予想	対前年比増減率
売上高	51,684	+15.0%	58,500	+13.2%
営業利益	2,522	+32.0%	3,200	+26.9%
経常利益	2,583	+38.6%	3,200	+23.9%
当期純利益	1,867	+53.5%	2,200	+17.8%

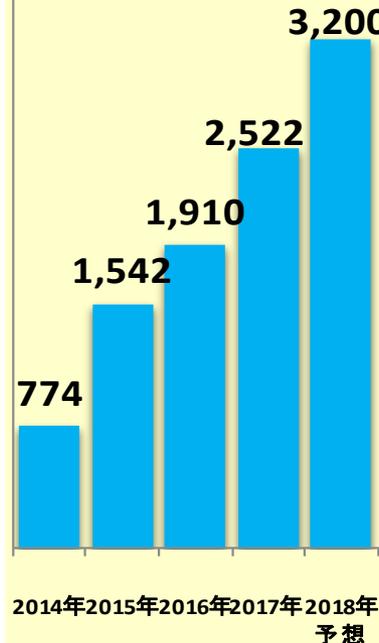
売上高

(百万円)

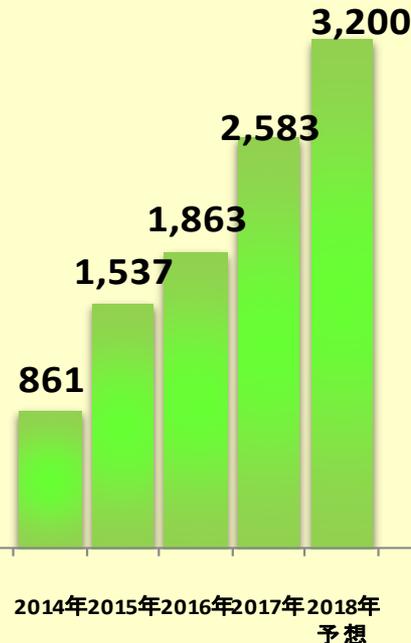


営業利益

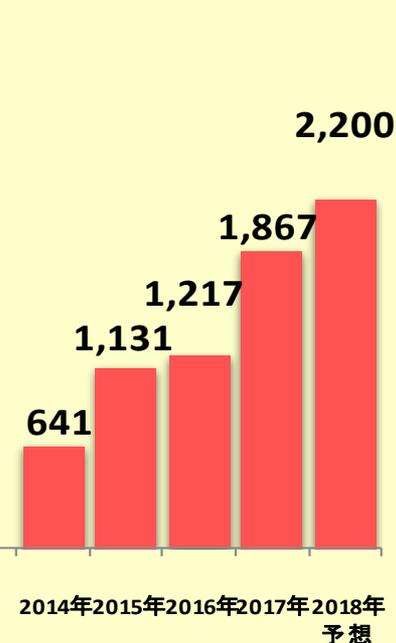
(百万円)



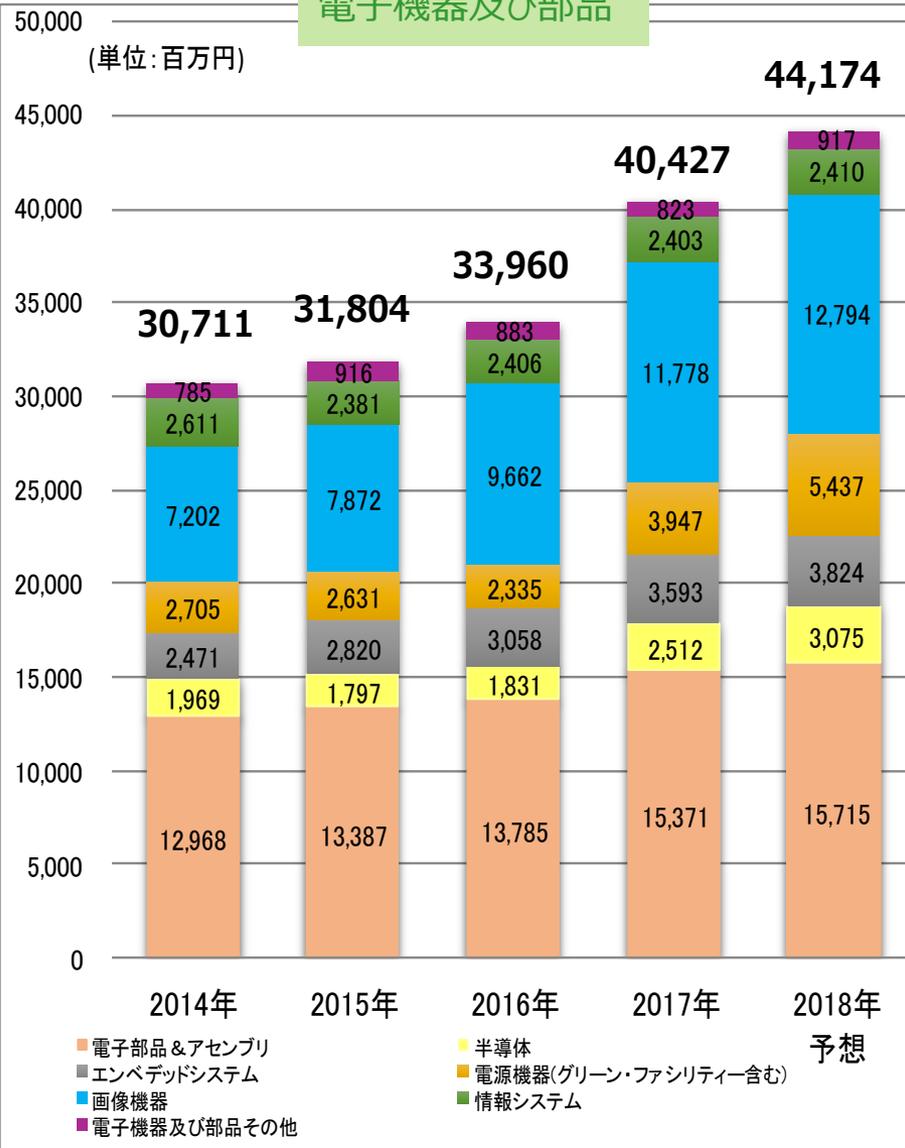
経常利益



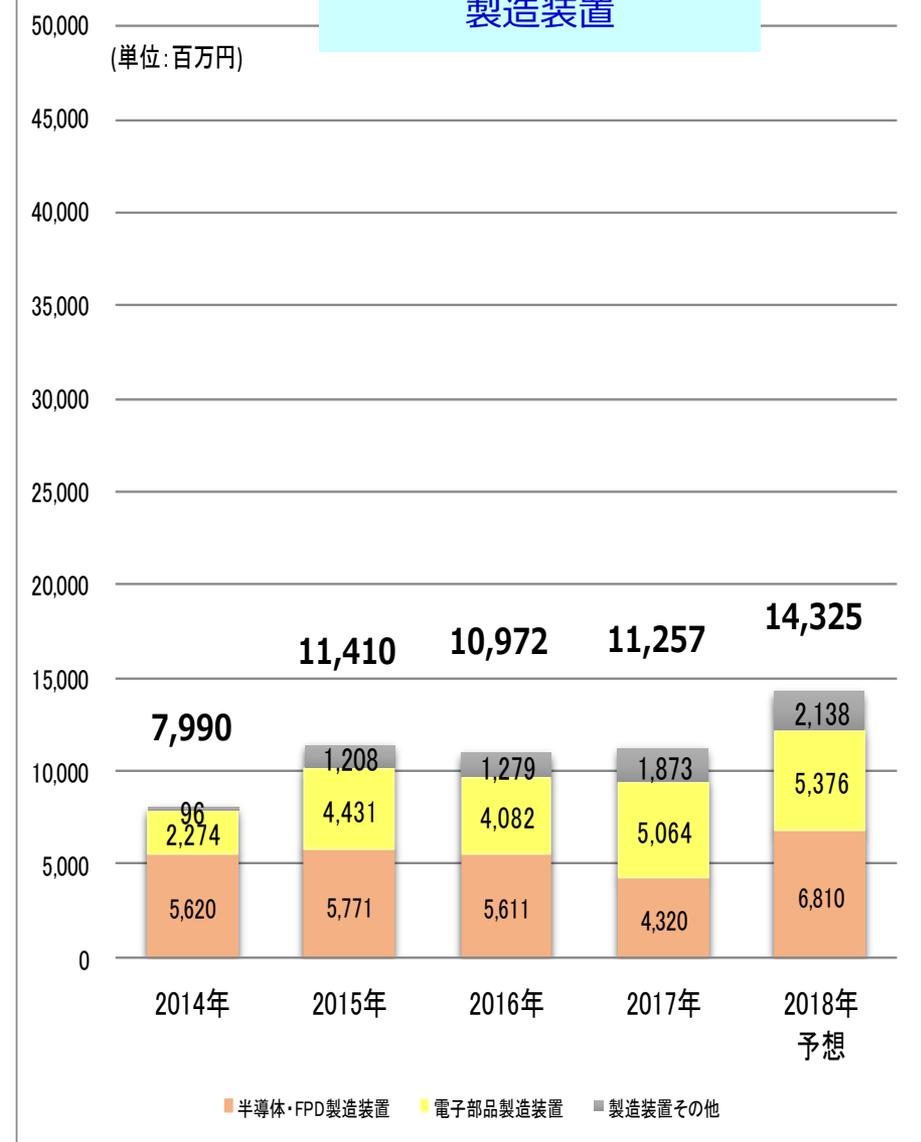
当期純利益



## 電子機器及び部品



## 製造装置



# 第9次中期経営計画 (9M)

## 1 新グループ・ステートメント

# Creator for the ***NEXT***

エレクトロニクス業界を担う企業として、グループのネットワークを活かし、新しい価値をクリエイトする決意の表明

### 対外的メッセージ

「グローバルな観点で市場を捉え、お客様ニーズの一步先の価値を創造し、提供する」という意志を表明

### 社内的メッセージ

「常に次なる事業を創造し、さらなる成長のステージへ挑戦する」というスピリットを表明

***N : Network***

***E : Engineering***

***X : (Synergy)***

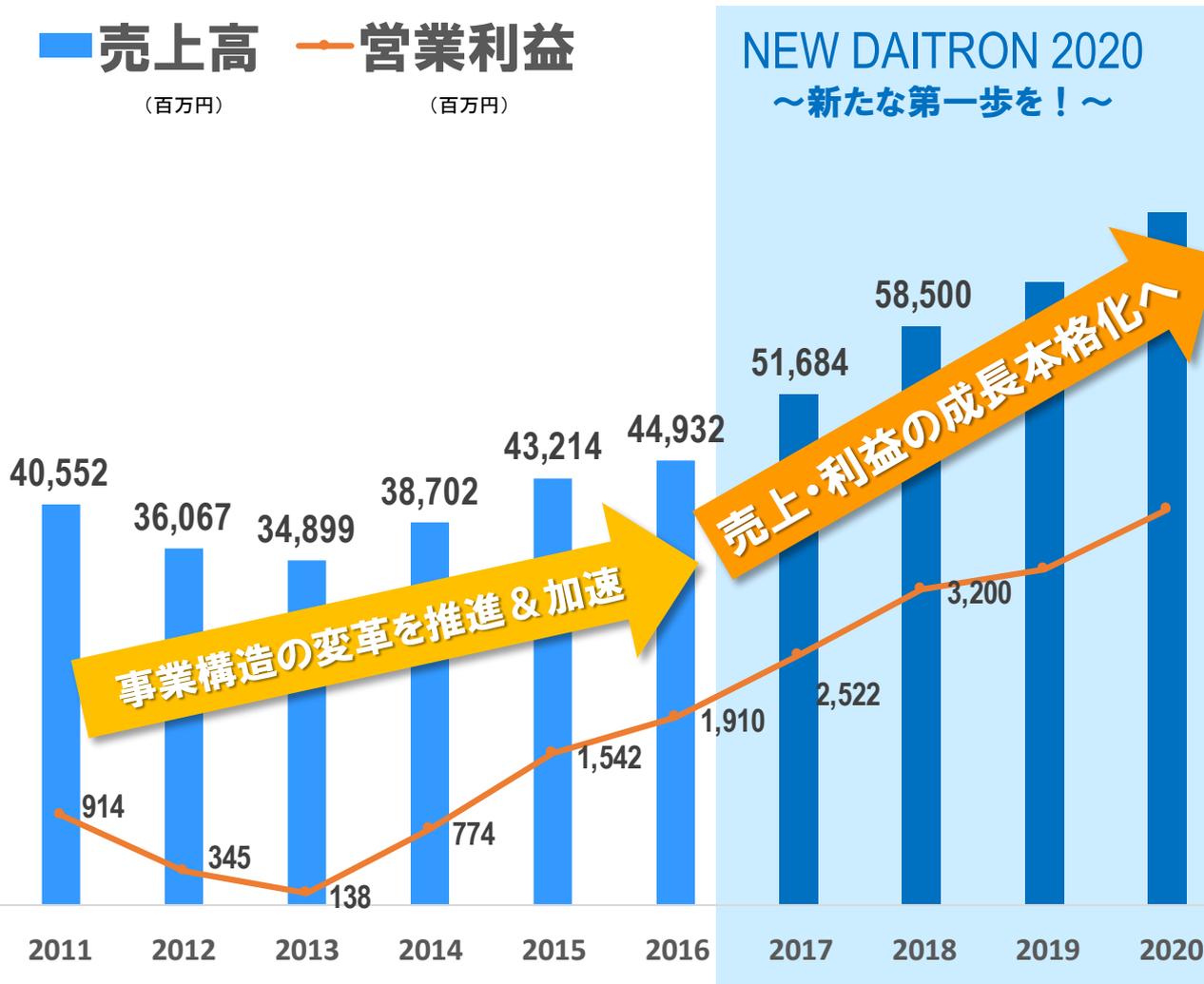
***T : Trading***

## 2 目指す姿

- **製販融合の、他に類を見ないユニークな企業**
  - 顧客から見た場合「頼もしく」、仕入れ先から見た場合「安心感」のある
  - 商社の「ダイナミズム」とメーカーの「可能性・着実性」を併せ持った
- **業界にとって、なくてはならない特徴ある技術・製品を有する企業**
- **社員にとって、働き甲斐があり、誇りに思える企業**
- **一致団結の強さと同時に自律能動的に動く組織**

# 1) 数値目標(連結)

■ 売上高 (百万円)    — 営業利益 (百万円)



## 【2020年 数値目標】

売上・利益の持続的な  
成長により  
過去最高実績を越えて  
更に先の成長を目指す

## 【目標とする経営指標】

自己資本比率

50%

ROA

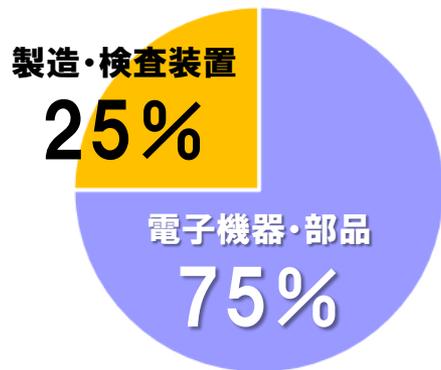
4%以上

ROE

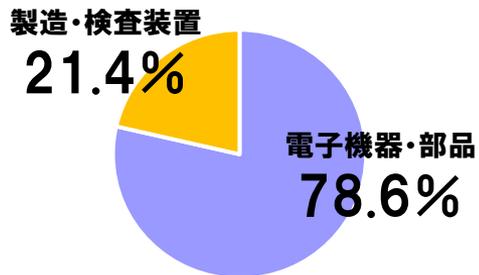
8%以上

### 部門別構成比 (売上高ベース)

【2020年 目標】

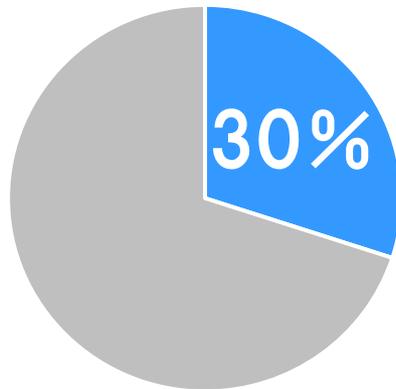


【2018年3Q時点】



### オリジナル製品比率 (売上高ベース)

【2020年 目標】

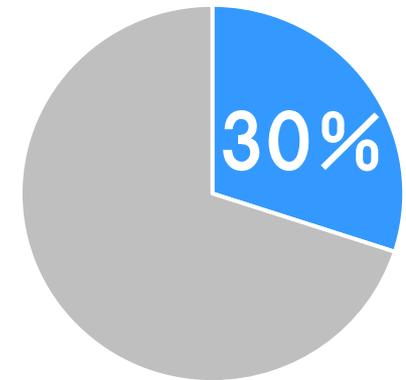


【2018年度3Q 時点】

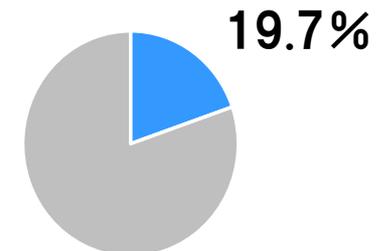


### 海外事業比率 (売上高ベース)

【2020年 目標】



【2018年3Q 時点】



## 5つの事業戦略

- 1 成長性重視の事業の再構築を推進
- 2 オリジナル製品開発の強化
- 3 海外ビジネス展開の強化
- 4 マーケティング力と営業力の向上
- 5 生産部門の統合強化

成長が有望視される  
市場



自動車



医療



インフラ



ロボット関連技術

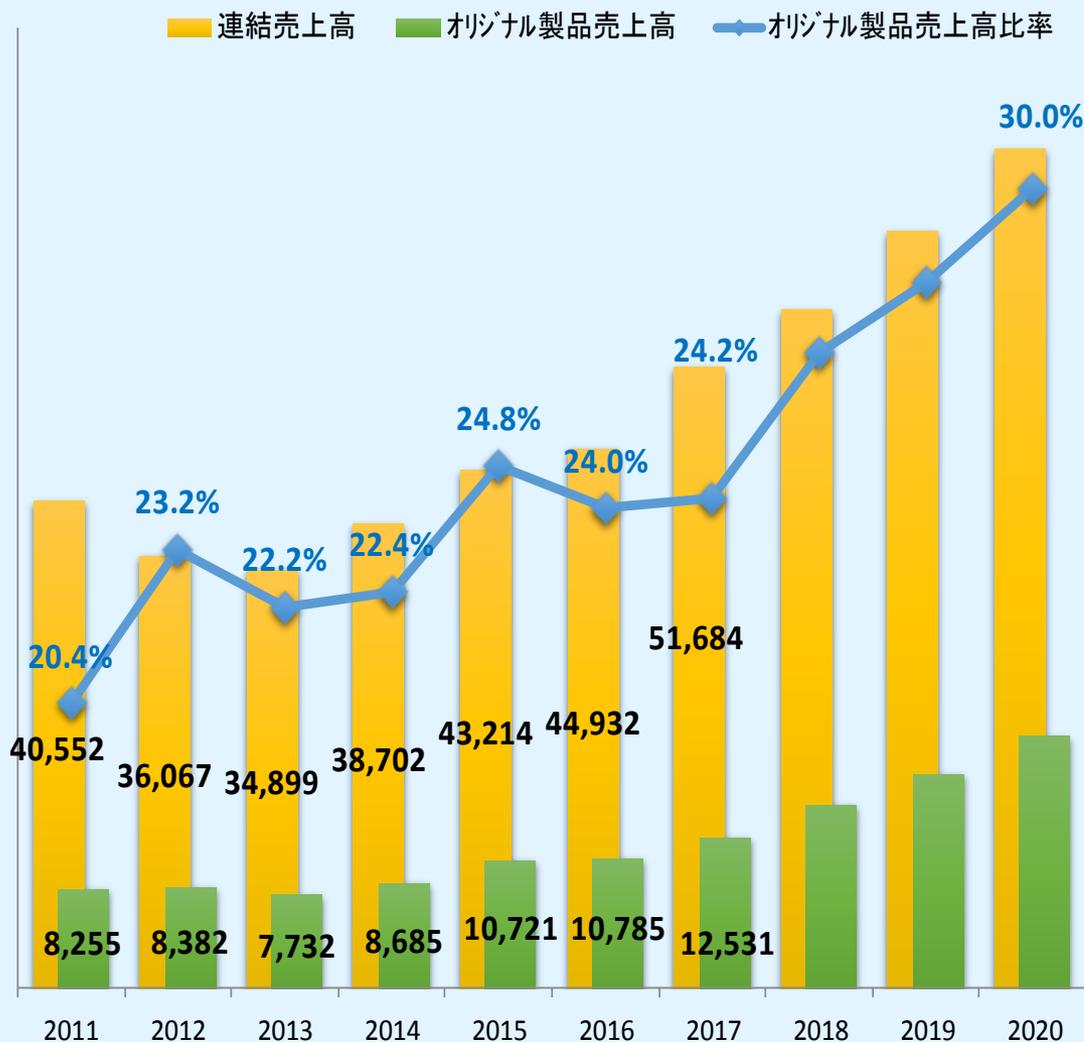


航空・宇宙

市場  
開拓

事業の  
再構築  
を推進

単位(百万円)



**オリジナル製品比率**  
(売上高ベース)  
**2020年 30%を目指す**

**戦略ポイント**

**「事業ユニット」に基づく  
強化・拡大戦略を展開**

- ⇒ 事業ユニットを増やす
- ⇒ 各事業ユニットの規模を拡大する  
(1ユニット当たり10~20億円を目指す)
- ⇒ 仕入先との連携によるラインナップ強化を図る

**<2017年12月より>**  
⇒ **ダイトテック株式会社の立ち上げ**

単位(百万円)

■ 連結売上高 ■ 海外売上高 — 海外売上高比率



**海外売上高比率**  
(売上高ベース)  
**2020年 30%を目指す**

**戦略ポイント**

**地域に密着したビジネス展開を目指す**

- ⇒ ローカル企業との取引拡大
- ⇒ 電子機器・部品ビジネスの拡大
- ⇒ アウト-アウト ビジネスの拡大
- ⇒ 地域独自のビジネス推進
- ⇒ ネットワークの拡充

**<2018年1月より>**

- ⇒ 海外事業本部(独立組織)設置によりグローバル化を更に推進

戦略  
ポイント  
1

国内外における  
販売ネットワーク拡充

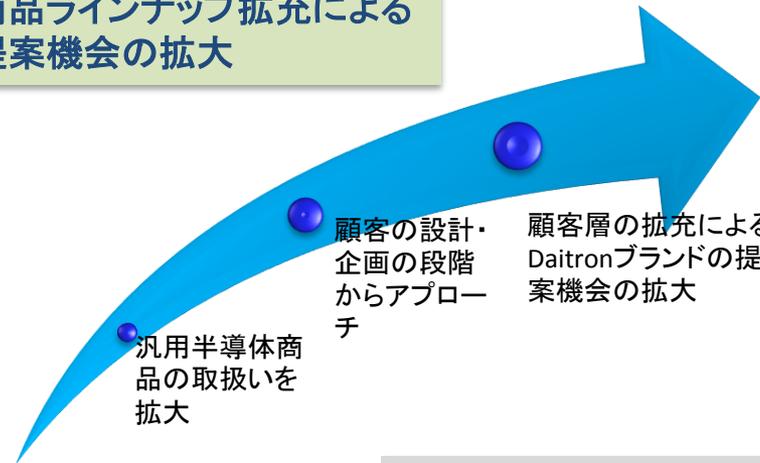
【国内】 ● 東北地方 ● 四国地方 など

【海外】 ● ベトナム ● インド  
● 欧州 など

戦略  
ポイント  
2

既存市場における  
プレゼンス向上

商品ラインナップ拡充による  
提案機会の拡大

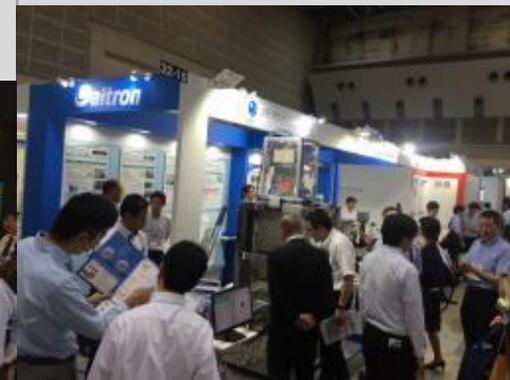


顧客の設計・  
企画の段階  
からアプロ  
ーチ

顧客層の拡充による  
Daitronブランドの提  
案機会の拡大

汎用半導体商  
品の取扱いを  
拡大

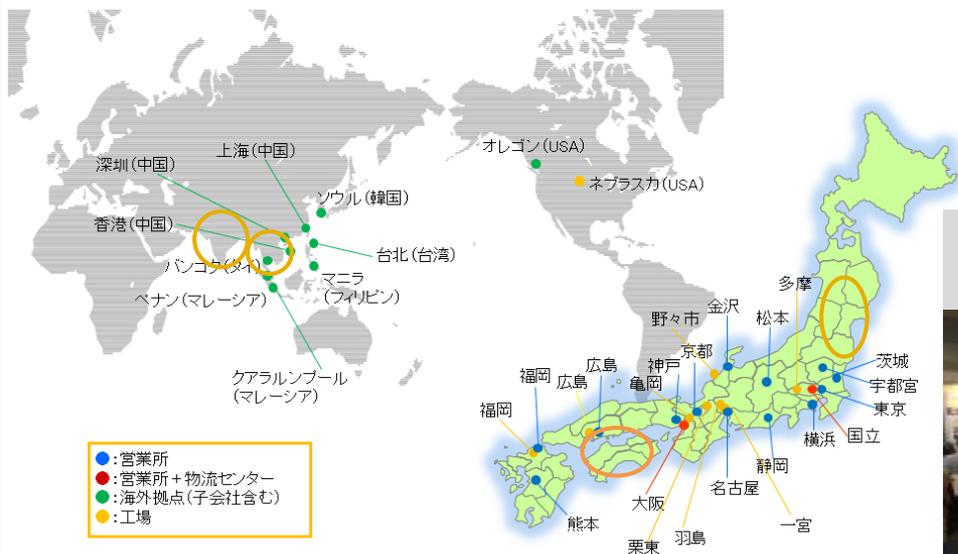
インターフェックス展



カーエレクトロニクス技術展



国内23拠点(内8工場)・海外11拠点(内1工場)



**中部工場** (愛知県一宮市)

ダイトングループの  
基幹工場として新設



**製造と開発の  
中核拠点へ**



2018年 第2工場建設完成予定

(1)中部第一工場 各事業(電源、航空機、車両、自動車)の生産拡大

(2)中部第二工場の竣工、稼働

【第一工場】電子機器・部品関連生産体制

⇒ 2016年11月～稼働

【第二工場】装置関連生産体制

⇒ 2018年度内の完成見込



中部第二工場完成予想図

# 株式情報

	第2四半期末 (中間)	期 末	年間配当 (中間+期末)	当初予想	配当性向
2014年 12月期	0円	15円	15円	5円	26.0%
2015年 12月期	0円	25円	25円	15円	24.5%
2016年 12月期	0円	30円	30円	20円	27.4%
2017年 12月期	15円	30円	45円	30円	26.6%
2018年 12月期 予想	※1 20円	30円	50円	50円	25.2%

※ 2017年12月期より中間配当を実施

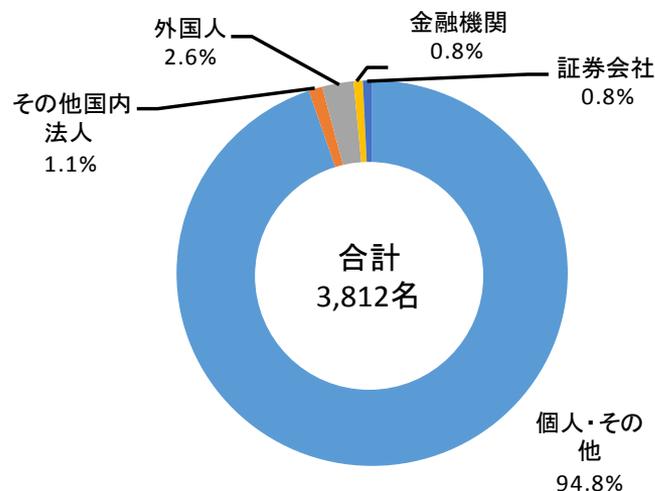
※1 2018年12月期 中間配当は実績値です。

(2018年06月30日現在)

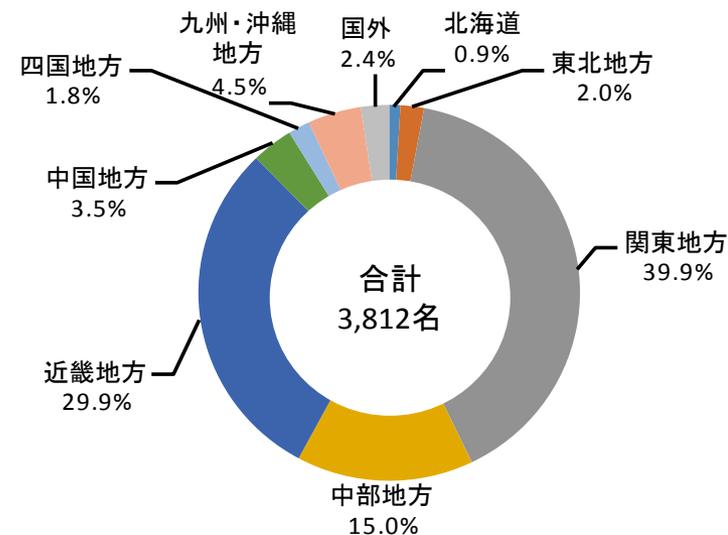
上場市場	東京証券取引所 1部
証券コード	7609
単元株数	100株
発行済株式総数	11,155,979株
株主数	3,812名

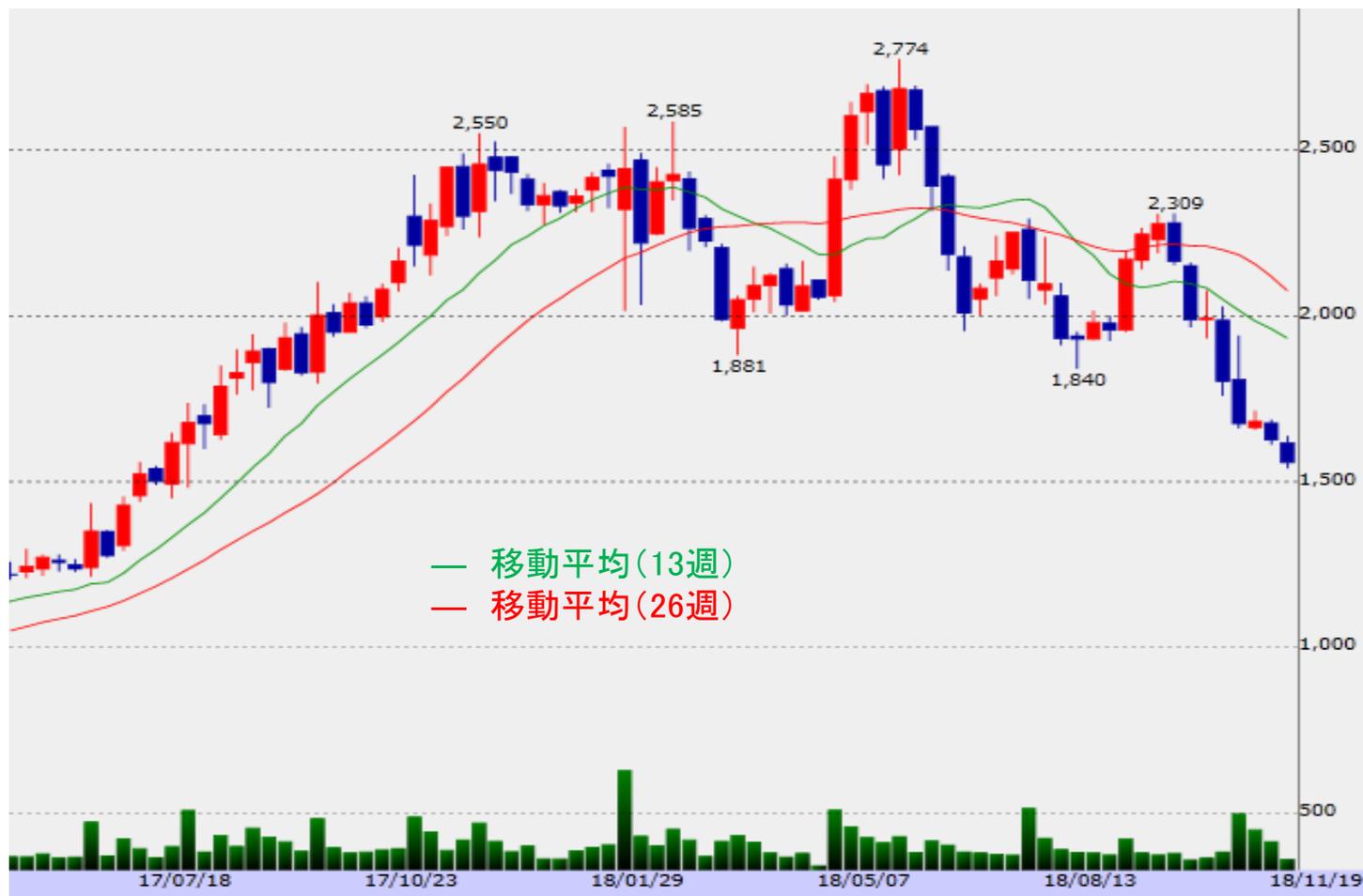
## 【株主構成】

【所有者別株主分布】



【地域別株主分布】





出典：Yahoo!ファイナンス 2018年11月21日現在

この資料で述べられている将来の当社業績に関する見通しは、現時点で知りうる情報をもとに作成されたものです。

当社が位置するエレクトロニクス業界の電子機器・部品産業並びに製造装置産業は、テクノロジーの変化やスピードが大変速く、競争の激しい産業です。

また、北米やアジア諸国の経済情勢など、当社の業績に直接的・間接的に影響を与える様々な外部要因があります。

従いまして、今後、当社の業績の見通しが本資料と異なる可能性があることをご含みおき下さい。

《本資料並びにIRに関するお問い合わせ先》

経営システム部 経営管理課 広報・IR担当

TEL:06-6399-5952

FAX : 06-6399-5962

e-mail : kouhou@daitron.co.jp

**Creator for the *NEXT***